

令和4年度のSSHの取り組みについての紹介

1. SSHについての紹介

SSHとはSuper Science Highschoolの頭文字であり、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を国が支援する事業です。現在全国で約220校がSSHの指定を受けています。指定期間は5年間ですが、岡山一宮高校は4回指定を受けており、現在第IV期指定の4年目です。

2. これまでの取り組みについて

	大学生・大学院生 「科学知」を統合し行動するリーダー
	高校生 iコンピテンシーを身に付けた人材

- ・情報分析活用力
- ・論理的思考力
- ・コミュニケーション力
- ・自律的に行動する力
- ・垣根を越える力

岡山一宮高校では大学生・大学院生になったとき、「科学知」を統合し行動するリーダーとなる人材の育成を目標としています。そのために高校生の内に身に付けて欲しい力として5つの資質能力をiコンピテンシー（アイコンピテンシー）と決めました。このiコンピテンシーを身につけるプログラムを開発しています。その核となるプログラムが探究活動です。

岡山一宮高校では「探究の一宮」を合言葉に3年間を通して探究活動を行っています。左図は普通科と理数科の3年間の本校の特色ある授業の流れを示しています。この中で中心となるのは理数科も普通科も2年で行う課題探究です。そのために1年では研究の基礎となるスキルを身につけ、3年では2年で取り組んだ課題探究の成果を学会で発表し、コンテストに応募します。他の取組等については学校WebページのSSHのコンテンツをご覧ください。



<http://www.itinomiya.okayama-c.ed.jp/ssh/ssh-torikumi.html>

3. 令和4年度の取り組みについて

令和4年度も岡山一宮高校だからこそ実施できる授業や研修等を多数行います。科学オリンピックや課題探究にしっかり取り組み、研修にも積極的に参加しましょう。そして、研究の成果を学会・コンテストで発表しましょう。

